

2025年12月期 決算補足説明資料

東証スタンダード市場（証券コード：7425）

2026年3月11日



Index

目次



- 01. サマリー情報 _____ P3
- 02. 2025年12月期決算概要 _____ P6
- 03. 2026年12月期業績予想 _____ P13
- 04. 参考情報 _____ P17

Index

目次



- 01. サマリー情報 _____ P3
- 02. 2025年12月期決算概要 _____ P6
- 03. 2026年12月期業績予想 _____ P13
- 04. 参考情報 _____ P17

2025年12月期業績

当連結会計年度の業績は、増収減益

売上高

各事業セグメントで売上高は増加したものの、人件費を中心としたコストアップを賄うまでの増収には至らなかった

	2025年12月期	前期比
売上高	354億44百万円	101.8%
経常利益	14億35百万円	95.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	8億31百万円	85.4%

2026年12月期業績予想

売上高

372億円

経常利益

15.1億円

親会社株主に帰属する 当期純利益

8.8億円

配当金

創業80周年記念配当を実施

2026年2月に創業80周年を迎えたことを記念し、株主の皆様のご支援に感謝の意を表するため、普通配当に加え、創業80周年記念配当を実施予定

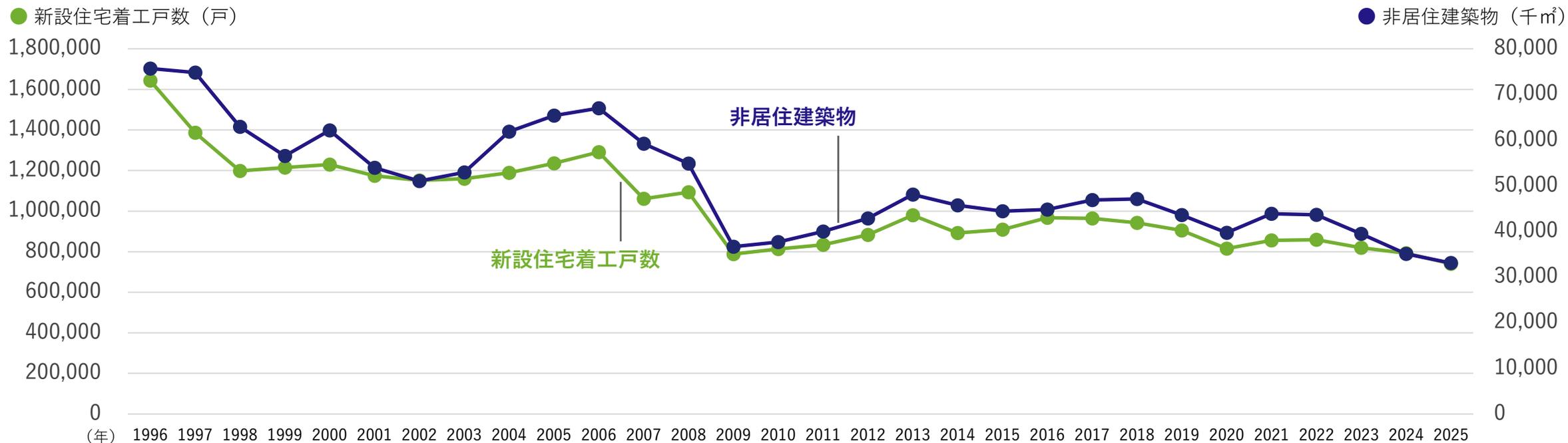
	2024年12月期	2025年12月期 (見込)
1株当たり 配当金	68.0円	77.0円 (普通配当75.0円) (記念配当2.0円)
配当性向	23.0%	30.6%

トピックス

連結子会社による孫会社の吸収合併

連結子会社である株式会社アイシンに経営資源を集約し、業務の効率化による物流機能の維持向上を目的として、同社の100%子会社であるアイエスライン株式会社を2025年10月1日付で吸収合併

着工建築物の推移



出典：国土交通省「建築着工統計調査報告」より作成

☑ 2025年の新設住宅着工戸数は前年比6.5%減の74万戸、民間非居住建築物は前年比5.7%減の33,077千㎡で推移

Index

目次



01. サマリー情報 _____ P3

02. 2025年12月期決算概要 _____ P6

03. 2026年12月期業績予想 _____ P13

04. 参考情報 _____ P17

売上高

- ☑ グループ全体としては増収となったものの、成長率は当初想定より減速し、業績予想を下回って着地

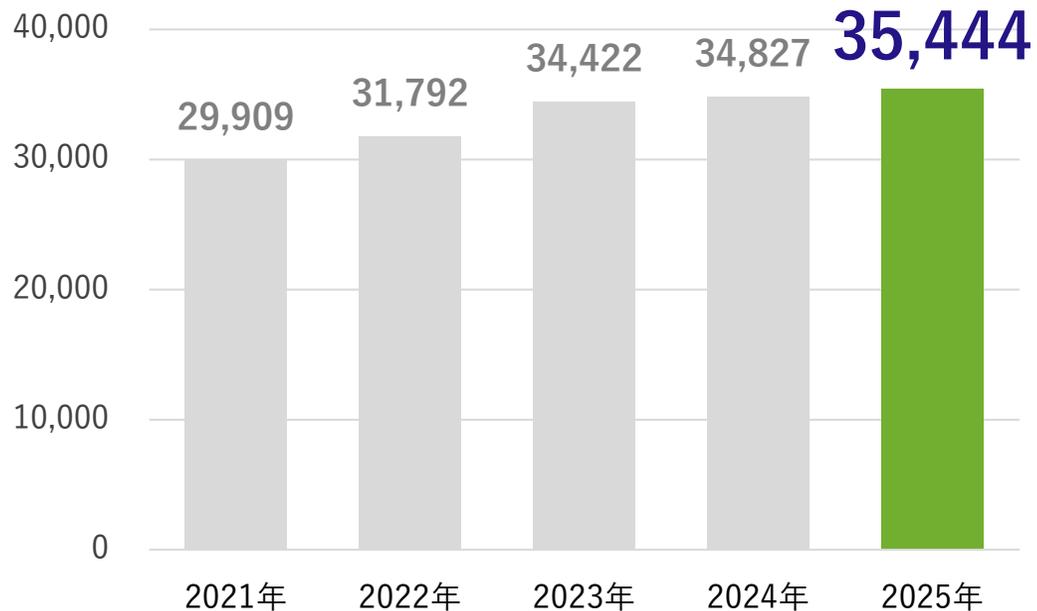
経常利益

- ☑ 人件費を中心としたコストアップを増収分で賄うまでには至らず、前期比で4.4%の減益

(単位：百万円)	2024年12月期	2025年12月期	前期比	通期業績予想	業績予想比
売上高	34,827	35,444	101.8%	36,500	97.1%
売上総利益	6,202	6,235	100.5%	—	—
販売費及び一般管理費	4,913	5,019	102.2%	—	—
営業利益	1,288	1,216	94.4%	1,350	90.1%
経常利益	1,501	1,435	95.6%	1,560	92.0%
当期純利益	1,091	933	85.5%	—	—
非支配株主に帰属する当期純利益	117	102	86.8%	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	974	831	85.4%	1,000	83.2%
ROE	10.8%	8.5%	—	10.6%	—

売上高

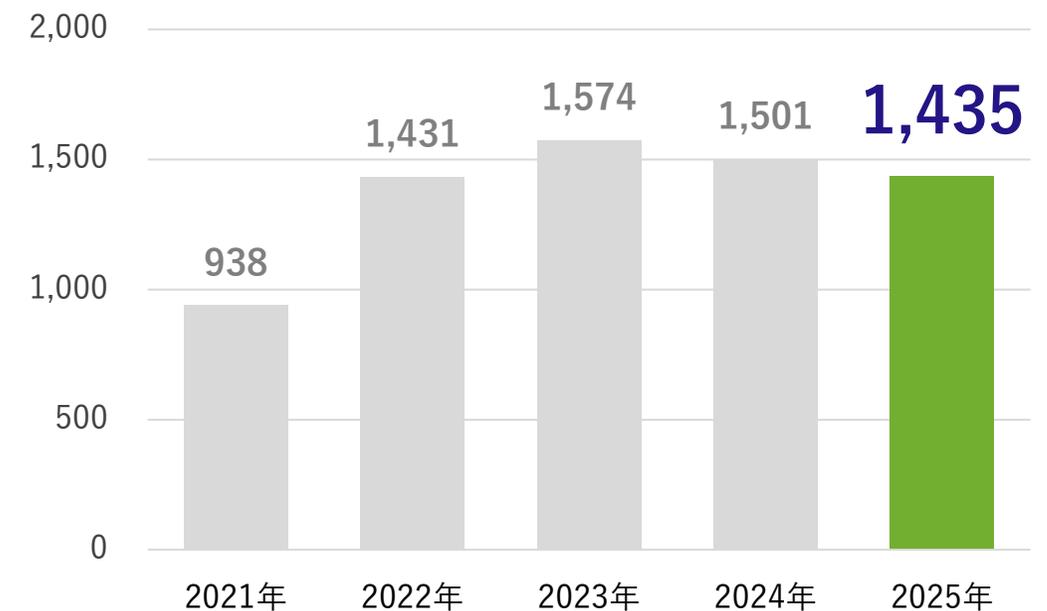
(単位：百万円)



- ☑ 過去最高の連結売上高を更新したものの、前年に続き慢性的な人員不足や天候不順等が荷動きの停滞要因となり、成長率は鈍化

経常利益

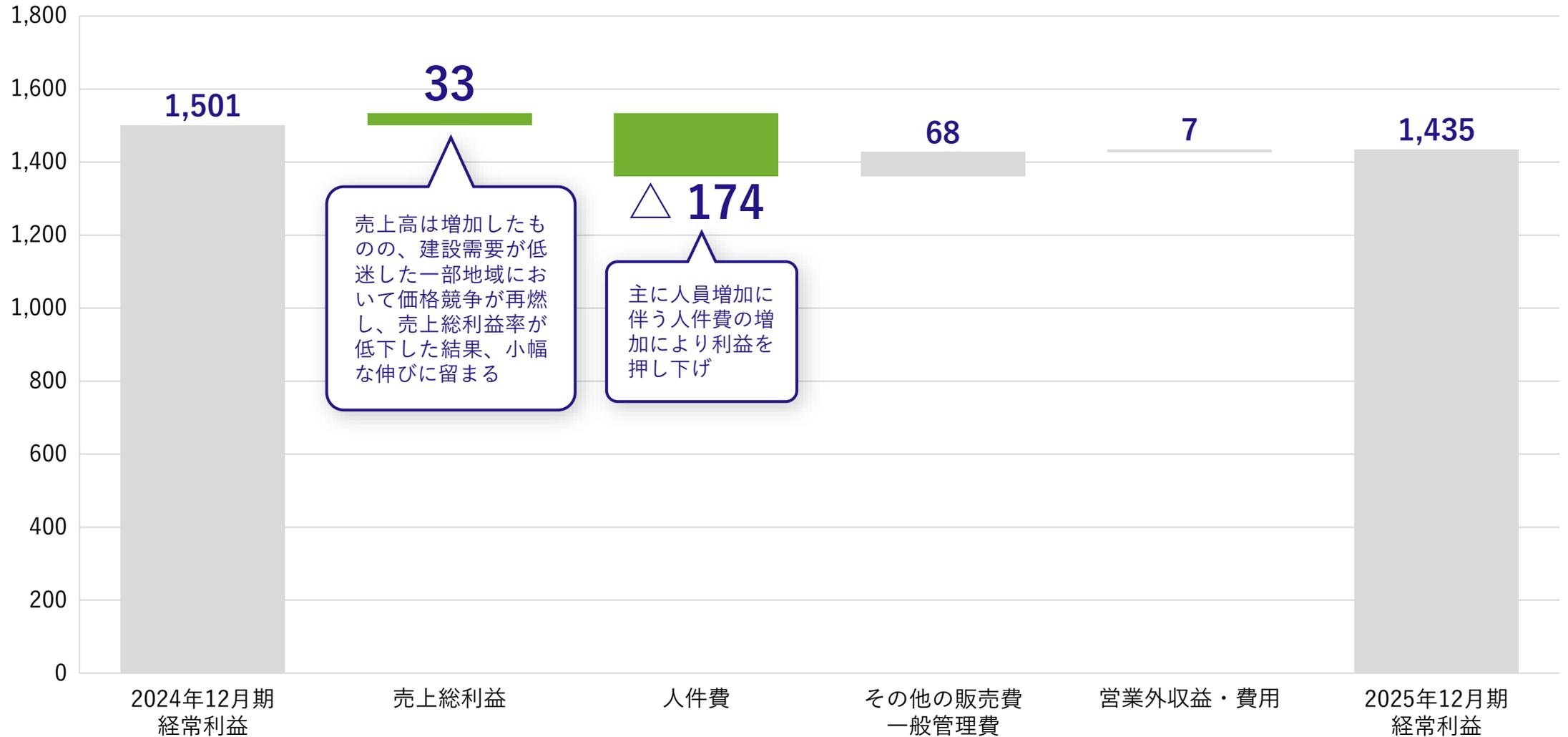
(単位：百万円)



- ☑ 人件費を中心としたコストアップを増収分で賄うまでには至らず、連結経常利益ベースでは、二期連続の減益

連結経常利益の増減要因

(単位：百万円)



内装建材事業

人手不足や猛暑による全国的な工事の遅延や、秋口から年末にかけての材料販売の出荷の不振により、前年並みの売上水準。価格競争の影響による利益率低下や、各種コスト増加もあり、増収減益

エクステリア事業

懸念していた建築基準法の改正や値上がり前の駆け込み需要の反動減は想定よりも小さく、販売強化に伴う販促キャンペーンの展開や物件の受注増加が寄与し、増収増益

住環境関連事業

中部地域における工事案件の獲得により業績は堅調に推移し、売上高は前年並みとなり、コスト体質の改善により利益率の面で向上した結果、増収増益

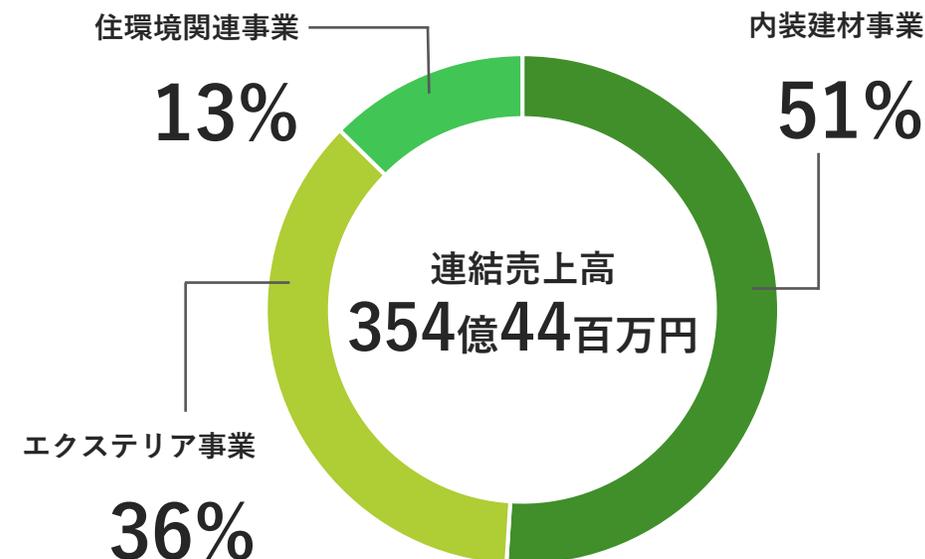
セグメント合計

各事業セグメントで増収となったものの、人件費等のコスト上昇の影響により全事業セグメント合計においては減益

(単位：百万円)	2024年12月期	2025年12月期	前期比
売上高	34,827	35,444	101.8%
内装建材事業	18,055	18,078	100.1%
エクステリア事業	12,309	12,895	104.8%
住環境関連事業	4,462	4,469	100.2%

(単位：百万円)	2024年12月期	2025年12月期	前期比
セグメント利益	1,803	1,723	95.6%
内装建材事業	1,179	1,037	87.9%
エクステリア事業	493	515	104.6%
住環境関連事業	130	170	130.9%
調整額	△514	△507	-
連結損益計算書の営業利益	1,288	1,216	94.4%

セグメント別売上高構成比



連結貸借対照表

(単位：百万円)	2024年12月期	2025年12月期	増減
資産	21,872	22,376	504
流動資産	15,501	16,030	528
現金及び預金	6,160	7,599	1,438
売掛債権	7,995	7,096	△646
商品	1,238	1,233	△5
その他	107	101	△5
固定資産	6,370	6,346	△24
負債	11,279	11,086	△193
流動負債	10,292	10,462	169
仕入債務	8,523	8,682	158
短期借入金	731	660	△70
その他	1,036	1,118	81
固定負債	986	624	△362
長期借入金	537	196	△340
その他	449	427	△21
純資産	10,592	11,290	697
株主資本	9,433	10,056	622
その他の包括利益累計額	26	40	13
非支配株主持分	1,132	1,194	61
(自己資本比率)	43.3%	45.1%	—

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)	2024年12月期	2025年12月期	増減	当期実績の主な内訳	
営業活動によるキャッシュ・フロー	628	2,167	1,539	税金等調整前当期純利益	1,435
				売上債権の減少	941
投資活動によるキャッシュ・フロー	△313	△1,101	△788	定期預金の預入による支出	△1,710
				定期預金の払戻による収入	660
(フリーキャッシュ・フロー)	(315)	(1,065)	(750)		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△657	△676	△19	長期借入金の返済による支出	△411
現金及び現金同等物の増減額	△342	388	731		
現金及び現金同等物の期末残高	5,739	6,128	388		

Index

目次



01. サマリー情報 _____ P3

02. 2025年12月期決算概要 _____ P6

03. 2026年12月期業績予想 _____ P13

04. 参考情報 _____ P17

売上高372億円、経常利益15.1億円と増収増益を見込む

☑ 内装建材事業においては、上半期は地方都市の建設需要が全体を下支えし、下半期から東名阪の大都市部を中心に、大型の再開発工事が順次本格稼働していくことを見込む

☑ エクステリア事業においては、住宅需要の冷え込みが続く中で、従来の販促キャンペーンに加え、ニーズの変化に応じた新たな商品ラインナップを取り揃えながら、企業再編により統合した物流部門を最大限に活かしていく

	2024年12月期	2025年12月期	2026年12月期予想	前期比
売上高 (百万円)	34,827	35,444	37,200	105.0%
営業利益 (百万円)	1,288	1,216	1,330	109.3%
経常利益 (百万円)	1,501	1,435	1,510	105.2%
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	974	831	880	105.8%
1株当たり当期純利益 (円)	296.19	252.26	266.93	—
ROE (%)	10.8	8.5	8.7	—



〈 資本コストや株価を意識した経営に向けた取組み 〉

01

高収益企業を 目標とした経営

基本方針に則った高水準のROEの維持継続を意識した経営により、利益金額だけでなく事業投資に対する資本効率性を評価軸に取り入れ、稼ぐ力を意識した経営に引き続き注力して参ります。

02

最適資本構成に対する考え方と 配当政策についての明確化

建設資材卸売業に属する当社グループにとって、目安として連結自己資本比率40~50%の範囲内が、業種及び実態に即した最適な資本構成として考えております。配当政策として、現在の安定配当をベースに連続増配を目標としながら、連結自己資本比率に応じて配当性向を段階的に引き上げていく方針であります。

03

株式の流動性向上

当社においては、流動性が乏しく株式売買高が少ない事による、流動性リスクプレミアムが資本コストを引き上げる重要な要因になっていると分析しております。今後、株式分割等の実施についても検討しながら、流通株式数及び株主数、売買出来高を増やす事で、流動性リスクを引き下げて参ります。

04

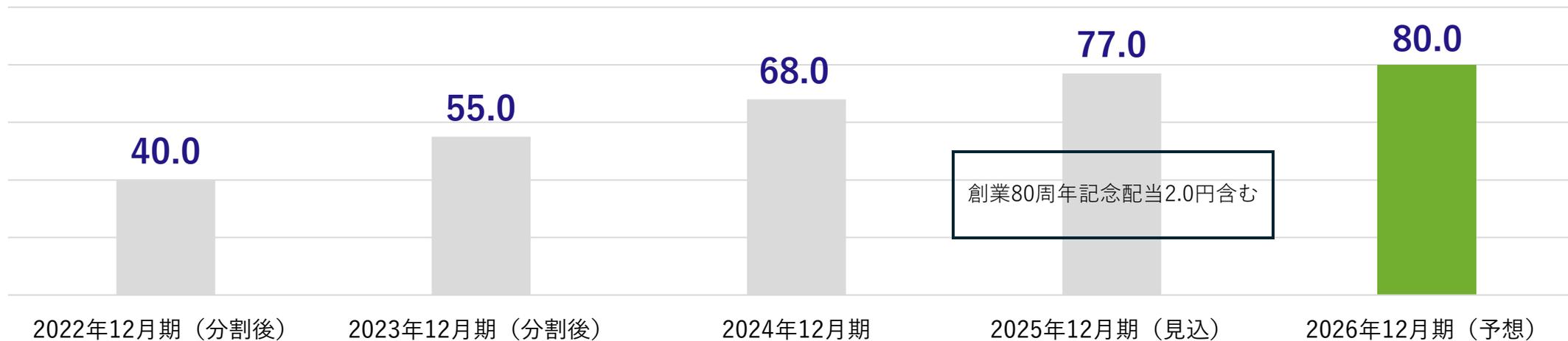
IR活動の強化及び成長に向けた 継続的なコーポレートアクションの実施

スタンダード市場に属する時価総額50億円前後の中小型株である当社は、機関投資家よりも個人投資家の売買が中心になっていると考えております。特に個人投資家に対するPR活動が重要であり、成長の可能性がある魅力的な投資対象として認知してもらえるように、事業内容・企業活動に対する情報発信や非財務情報の情報開示を充実させ、成長性に対する投資家の適切な理解を得られるようにIR活動を強化して参ります。また、M&Aによる連結決算以後、成長が加速したように、成長に向けた様々なコーポレートアクションを継続して行っていく方針であります。

配当政策

安定配当をベースに連続増配を目標としながら、
連結自己資本比率に応じて配当性向を段階的に引き上げていく方針であります。

(単位：円)



	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期	2025年12月期 (見込)	2026年12月期 (予想)
1株当たり当期純利益	261.09円	297.48円	296.19円	252.26円	266.93円
1株当たり配当金	40.0円	55.0円	68.0円	77.0円	80.0円
配当性向	15.3%	18.5%	23.0%	30.6%	30.0%

(注) 1. 2024年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しており、2022年12月期から2023年12月期までの1株当たり当期純利益及び1株当たり配当金は株式分割後の金額を表示しております。
2. 2025年12月期の1株当たり配当金の内訳は普通配当75.0円、創業80周年記念配当2.0円であります。

Index

目次



01. サマリー情報 _____ P3

02. 2025年12月期決算概要 _____ P6

03. 2026年12月期業績予想 _____ P13

04. 参考情報 _____ P17

About us

会社概要

グループ基本理念

建築資材の取り扱いを通して、
より快適な夢と希望あふれる
社会づくりに貢献します。

商号	初穂商事株式会社
本社所在地	名古屋市中区錦二丁目14番21号 円山ニッセイビル2階
代表者	代表取締役社長 斎藤 悟
設立	創業 1946年2月1日 設立 1958年12月18日
資本金	885百万円
売上高	35,444百万円（連結売上高）
従業員	485人（連結従業員数）
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・内装建材事業・エクステリア事業・住環境関連事業
グループ会社	<ul style="list-style-type: none">・株式会社アイシン

※2025年10月1日付で株式会社アイシンは、同社を存続会社としてアイエスライン株式会社を吸収合併いたしました。

Our business

事業内容

当社グループは「内装建材事業」、「エクステリア事業」、「住環境関連事業」の三本の事業セグメントを軸に多角的な事業展開を行ってまいります。

	内装建材事業	エクステリア事業	住環境関連事業
			
			
 主な顧客	内装仕上げ工事業者	外構工事業者	外壁・屋根・板金等の建設工事業者
 販売商品	軽量鋼製下地材、石膏ボード等	エクステリア資材、石材等	建築金物等・ALC金具副資材・鉄線・溶接金網・カラー鉄板・環境関連（太陽光発電・エコキュート）

※2025年10月1日付で株式会社アイシンは、同社を存続会社としてアイエスライン株式会社を吸収合併いたしました。

Public relations

PR活動



当社の認知度向上を図るため、各種PR活動に取り組んでおります。

イメージキャラクターの活用

- ・日本経済新聞社主催の「NIKKEI 企業キャラクター総選挙 2025」に掲載
- ・営業車両や配送トラックへの「ハッチャン」の掲示
- ・PR用のぬいぐるみ等のグッズ、LINEスタンプの製作

当社イメージキャラクター「ハッチャン」のご紹介

初穂商事を皆様により身近に感じていただけるように、当社のイメージキャラクターを制作いたしました。

当社の商売のルーツ”釘”から生まれた、釘の妖精「[ハッチャン](#)」。
そして、

- ・初穂商事のはつほの「[△](#)」
 - ・富士山のように頼もしい八の字あたまの「[△](#)」
 - ・初穂商事本社がある名古屋の市章、丸八の「[△](#)」
- これらの三つを合わせた「[スリーエイト \(888\)](#)」の[ハッチャン](#)です！

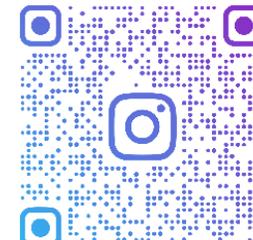
大きなお顔に釘の瞳。
富士山のように頼もしい八の字の頭がチャームポイント！
手にはこうべを垂れた稲穂に感謝の気持ちを込めて、
今日も釘の瞳のパワーで、
みんなの笑顔とご縁、「地域・人・未来」をつないでいるよ。
建材のすきまから今日もそっと顔を出す、かわいい妖精。
みかけたら、ちょっといいことあるかも？
そんな「[ハッチャン](#)」をよろしくお祈いします！

公式SNSの開設

Instagram

初穂商事企業アカウント
@HATSUHO.OFFICIAL

公式キャラクター ハッチャン
@HATCHAN_HATSUHO



X

公式キャラクター ハッチャン
@hatcan_hatsuho



Disclaimer

免責事項

本資料は、当社グループの業績情報や企業情報等の提供のために作成したものであり、当社が発行する株式その他の有価証券の売買等の勧誘をするものではありません。

本資料に含まれる、業績予想等の将来の見通しに関する記述につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。今後、様々な要因によって、将来の見通しに関する記述は実際の業績と異なる場合があります。

本資料に関するお問い合わせ

初穂商事株式会社 経営管理室

TEL : 052-222-1066

Email : hatinfo@hatsuho.co.jp



初穂商事イメージキャラクター
ハッチャン